

## 第4部 環境（公害）調査と現況

### 第1章 公害苦情

#### 第1節 苦情件数

平成28年度に本市で受理した公害苦情件数は、55件であった（大気、水質、騒音、振動、悪臭、その他、なお同一苦情については1件として数えた）。

種類別にみると、騒音が27件（49.1%）で最も多く、次いで悪臭10件（18.2%）、大気の7件（12.7%）、水質6件（10.9%）、振動3件（5.5%）、その他2件（3.6%）と続いている。

以下に月別の発生件数、規制対象別、用途地域別の表4-1-1、4-1-2、図4-1-1を示す。

表4-1-1 平成28年度月別公害苦情発生件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
大気	0	0	0	1	1	2	1	0	0	2	0	0	7	12.7
水質	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	6	10.9
騒音	0	2	4	7	2	3	2	2	0	3	0	2	27	49.1
振動	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	5.5
悪臭	1	0	3	1	1	0	2	1	0	0	0	1	10	18.2
その他	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3.6
合計	3	3	7	9	5	8	7	3	0	5	1	4	55	100.0

(重複を除いた件数)

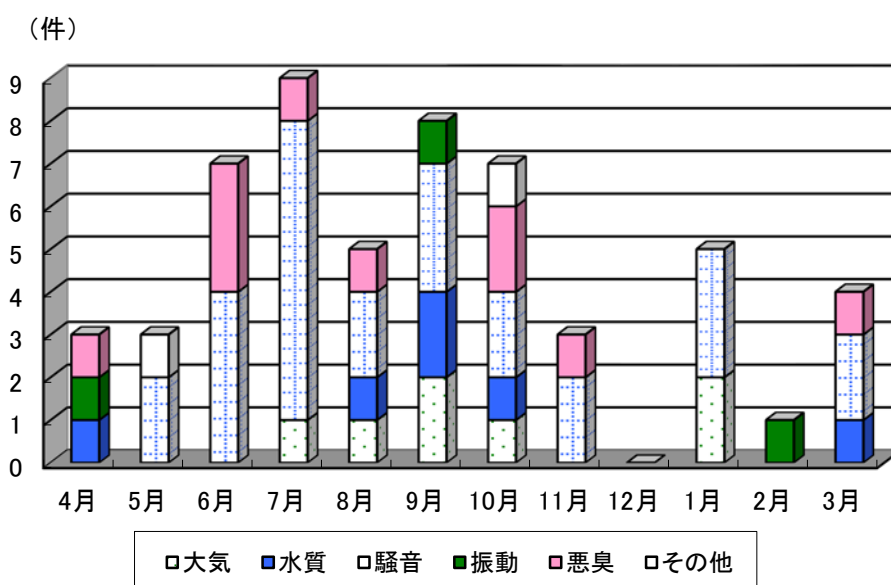


図4-1-1 平成28年度月別公害苦情発生件数

表 4-1-2 平成 28 年度公害苦情件数（規制対象及び用途地域別）

(件)

		法 令 根 拠				用 途 地 域								合 計
		法 律	条 例	な し	小 計	住 専 系	住 居 系	近 隣 商 業	商 業	準 工 業	工 業	そ の 他	小 計	
大 気	ば い 煙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	燃 焼 不 適 物 の 焼 却	2	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	2	
	粉 じ ん	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	2	
	そ の 他	0	0	3	3	1	0	0	0	1	1	0	3	
	小 計	2	0	5	7	2	2	0	0	2	1	0	7	
水 質	工 場 ・ 事 業 場 排 水	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	6
	河 川 ・ 用 水	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5	5	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計	0	0	6	6	0	0	0	0	1	0	5	6	
騒 音	工 場 ・ 事 業 場 騒 音	2	2	17	21	2	7	0	0	10	2	0	21	27
	建 設 作 業 ・ 資 材 置 場 騒 音	0	0	4	4	1	2	0	0	1	0	0	4	
	深 夜 営 業 騒 音	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
	拡 声 器 騒 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	
	小 計	2	2	23	27	3	10	0	0	12	2	0	27	
振 動	工 場 ・ 事 業 場 振 動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	建 設 作 業 ・ 資 材 置 場 振 動	0	0	3	3	0	2	1	0	0	0	0	3	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計	0	0	3	3	0	2	1	0	0	0	0	3	
悪 臭	廃 棄 物 処 理	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	10
	不 明	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	
	そ の 他	1	0	6	7	0	0	0	0	3	3	1	7	
	小 計	1	0	9	10	0	0	0	0	3	4	3	10	
そ の 他		0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1	2	2
合 計	件 数	5	2	48	55	5	14	1	0	19	7	9	55	55
	構 成 比 率 ( % )	9.1	3.6	87.3	100	9.1	25.5	1.8	0	34.5	12.7	16.4	100	

(重複を除いた件数)

## 第2節 苦情件数の推移

本市の過去10年間における公害苦情の推移を表4-1-3、図4-1-2に示す。

平成28年度においては55件であった。

件数としては、平成19年度から100件前後で推移し、長期的に見れば減少傾向となっている。

表4-1-3 過去10年間における公害苦情の推移(平成19年度～平成28年度)

(件)

年度 公害区分	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
大気	31	24	18	25	20	27	25	4	14	7
	(40)	(27)	(22)	(31)	(21)	(27)	(27)	(4)	(14)	(7)
水質	23	13	4	1	6	6	5	3	9	6
	(24)	(13)	(4)	(2)	(6)	(6)	(6)	(3)	(9)	(6)
騒音	33	37	39	28	41	41	41	29	31	27
	(44)	(42)	(47)	(33)	(46)	(43)	(43)	(30)	(31)	(27)
振動	7	4	4	4	4	7	6	3	6	3
	(11)	(4)	(4)	(4)	(6)	(7)	(6)	(3)	(7)	(3)
悪臭	10	31	23	17	13	23	24	12	22	10
	(16)	(36)	(26)	(30)	(17)	(24)	(29)	(12)	(24)	(10)
その他	2	2	1	2	3	1	2	2	1	2
	(2)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(2)	(1)	(2)
合計	106	111	89	77	87	105	103	53	83	55
	(137)	(124)	(104)	(102)	(99)	(108)	(113)	(54)	(86)	(55)

同一苦情については1件として数えた件数

( )内は、重複も含めた件数

### <大気>

野外焼却による苦情が主であるが、工場等の煙や水蒸気についての苦情も寄せられている。

### <水質>

河川等における水質事故等が主であるが、河川の流れにより被害が広範囲に及び、発生源を辿るのが困難である事例が多い。

### <騒音>

主に工場・事業場の機械設備から出る音と、建設・解体時の重機や斫り作業による音に大別される。近年においては、大型機械等の低騒音化が進んでいるため、苦情は減少傾向にあるものの、事業所を出入りするトラックのブザー音や、荷積み下ろしの音や人の声等、そもそも規制の対象とならない音についての苦情が増えている。

### <振動>

戸田市は地質上地盤が比較的軟弱であるため、振動が比較的広範囲にわたることがあり、建設・解体現場から離れたところからも苦情が寄せられるという特徴がある。

### <悪臭>

風向きや強さの影響により、苦情が広範囲に及ぶ可能性がある。また、発生時間にばらつきがある場合、特に発生源の特定が困難となる。

### <総括>

近年の戸田市においては、住宅化が進んでおり、工場と住宅が隣接している場所も多くなっている。こうした場所においては既存の工場であってもより一層の配慮が求められることもあり、課題となっている。

特に騒音・振動・悪臭においては、受け手により感じ方が様々であり、一度気になってしまうと改善されたとしても気になることがあり、解決が難しい場合がある。

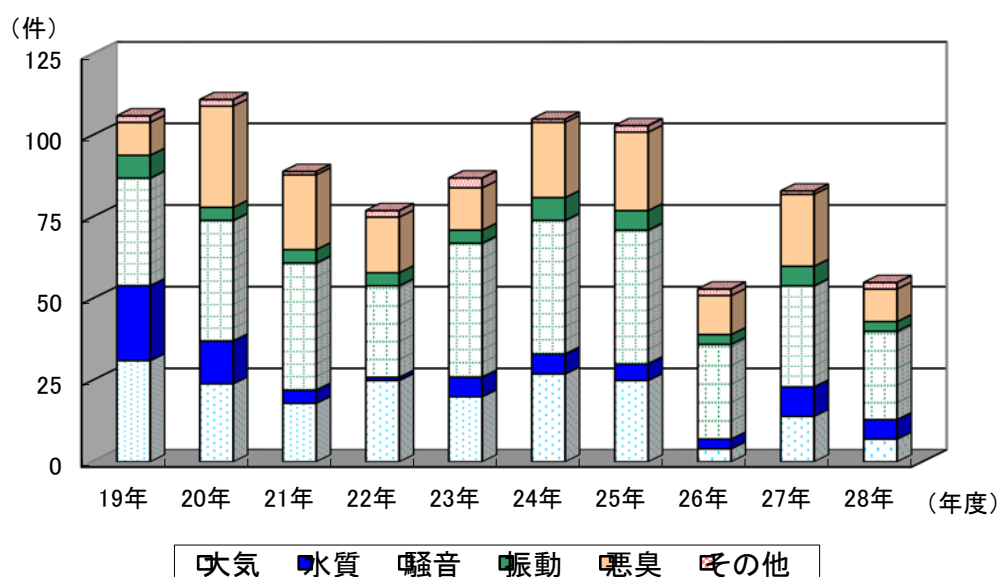


図 4-1-2 公害苦情の推移（平成19年度～平成28年度）